

赤潮が海産生物に及ぼす影響・ 作用機構の解明と被害軽減に向けた将来展望

会場：東京海洋大学 楽水会館

日時：令和8年
3月26日(木)
9:00-17:00

9:00 開会の挨拶 水産環境保全委員会委員長
9:05 企画の趣旨説明 持田 和彦(水産機構技術研)
9:10 先行知見のレビュー 紫加田 知幸(水産機構技術研)

I. 赤潮による海産生物への影響

座長：和田 実(長大院水産)

9:20 クロマグロの致死細胞密度
9:40 北方域での赤潮における介類への影響
10:00 カイアシ類に対する影響
10:20 混合赤潮下の種間競合と魚毒性
10:40 環境毒性学からの赤潮研究への貢献

横田 高士(水産機構技術研)
長谷川 夏樹(水産機構資源研)
大西 拓也(水産機構資源研)
矢野 諒子(水産機構技術研)
高井 優生(九大院農)

II. 赤潮プランクトンの毒因子とその作用機構

座長：鈴木 敏之(北里大海洋生命)

11:00 微細藻類が産生する毒
11:20 活性酸素種等の不安定な毒因子
11:40 魚類鰓培養細胞による毒性評価
12:00 休憩(昼休み)
13:00 赤潮プランクトンの鰓付近での行動

内田 肇(水産機構技術研)
山崎 康裕(水大校)
上野 幹憲(長大院水産)
西上 幸範(北大院電子研)

III. 赤潮に暴露された魚類の応答

座長：小川 元之(北里大医)

13:20 各組織の形態変化
13:40 糖の量的質的变化
14:00 生理学的応答
14:20 代謝物群の応答
14:40 遺伝子群の応答
15:00 休憩

西槇 俊之(北里大医)
小竹 敬久(埼玉大理工)
長谷川 祐也(水産機構技術研)
羽野 健志(水産機構技術研)
内山 郁夫(基生研)

IV. 魚類の赤潮抵抗性を向上させる技術

座長：坂本 崇(海洋大)

15:20 収容密度の改変と生簀の大型化
15:40 給餌制限による抵抗性向上効果
16:00 ゲノム選抜による赤潮抵抗性プリの作出

紫加田 知幸(水産機構技術研)
向井 幸樹(水産機構技術研)
菅谷 琢磨(水産機構技術研)

V. 総合討論

16:20 総合討論
16:55 閉会の挨拶

持田 和彦(水産機構技術研)
水産環境保全委員会副委員長

企画の趣旨
長年、赤潮のモニタリング・
予察手法や赤潮プランクトン
の駆除手法に関する研究が進
められてきた。
しかしながら、近年も赤潮に
よる水産業への甚大な被害が
生じている。本シンポジウム
では、赤潮により被害を受ける
海産生物の応答について最新
知見を共有するとともに、新
たな赤潮対策技術開発の将来
展望とそれに向けた連携など
について議論する。